

小城市立 小中一貫校 芦刈観瀾校 学校便り 5月1日号

とも に



【文責】 校長：本村 正信 副校長：勝原 理

授業参観・PTA総会への参加ありがとうございました

本年度最初の授業参観及びPTA総会が、4月22日（日）に行われました。多数の保護者の皆様の参観・参加をいただき、無事に終了いたしました。御協力ありがとうございました。小学部・中学部とも、それぞれの学年に応じた授業が行われましたが、いかがだったでしょうか。本年度も、職員一同は児童・生徒の主体的に学習する力を育成すべく努力を重ねていきます。授業参観で、その一端をお見せできたのであれば幸いです。



さて、小学部、特に1年生は初めての授業参観ということもあり、教室に入りきれないほどの保護者の方々が参観しておられました。先生の話を一息懸命聞こうとする我が子の様子をにこにこしながら見てくださる保護者の方々を見て、こちらまでうれしくなりました。小学部のほかの学年も、音読発表会、漢字の学習、詩の創作、地図帳を活用しての学習、外国語活動など児童の活躍の場が見られる授業が展開されていました。中学部では、文字式の学習、短歌の学習、保健体育の学習などグループ学習を活用し「学びあう」授業作りが行われていました。



残念だったのが、9年生がインフルエンザの流行のため、急遽早退し、授業参観が行われなかったことです。9年生については、次回の授業参観をお楽しみにしてください。



授業参観後、PTA総会が行われました。100名を超える参加者を前に、議事も滞りなく進み、無事本年度のPTAの方向性を決定することができました。御協力ありがとうございました。また、その後各学年ごとに学年PTAを行いました。参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



インフルエンザ流行の兆し



突如、本校をおそったインフルエンザの脅威。授業参観があった22日（金）の朝、突然中学生にインフルエンザ罹患者が7年生1名、9年生3名。その後も、急に熱が上がり始め早退する生徒が数名。特に9年生は修学旅行を目前に控え、大変心配いたしました。結局、9年生はその後の罹患者が増加したため、残念ながら修学旅行は延期となりました。また、全体の1/4ほどのインフルエンザによる欠席者が出たため、学級閉鎖の措置をとらざるを得ませんでした。以前は、インフルエンザは真冬の感染症というイメージが強かったのですが、ここ数年は初夏の今の時期に、A型がはやる傾向が出てきています。つい最近も、武雄市内の中学校が学校閉鎖になったとのこと。

連休を迎え、遠出をされたり、人混みの中に行かれる予定を立てられている御家庭も多いと思います。人が多く集まっている場所ほど感染のリスクが高くなります。また、沖縄を発生元とする麻疹も驚異的なスピードで広まっているという報道がされています。感染予防に対する万全の準備をするとともに、十分な休養もお願いいたします。

地域ボランティアの方々今年もお世話になります



今年も4月26日（木）から「すくすくタイム」がスタートしました。この時間は、小学校1～4年のみの取り組みとなり、5～6年生は「すくすくテスト」が行われています。「すくすくタイム」は年間24回の設定で、地域ボランティアの皆様の御協力を得て、算数のスキル学習を行います。1年生から4年生までの教室に、地域の方々が先生となっていただき、児童の学習を支えています。



ボランティアの方々には、子どもたちのがんばりに対して、にこにこしながら優しく対応していただいています。児童も、担任とは違う、地域の方からご指導いただくのを楽しみにしています。

「すくすくタイム」のほかにも様々な分野で、ボランティアの方々の御協力をいただいています。昨年のはべ500名近い方々の御協力をいただきました。地域の方々の熱い思いに我々職員一同も答えて、しっかり教育活動をおこなっていきます。

【お知らせ】

ご存じのことと思いますが、本年度の家庭訪問は夏休み中におこないません。昨年度とは違うスケジュールになっていますので、お間違えのないようよろしくお願いいたします。